

生物多様性保全

当社は、生物多様性が将来の持続可能な社会にとって重要な基盤であることをより深く認識し、国際社会の一員として、全ての人々との間で役割と責任を分かち合い、連携・協力して生物多様性の保全に資する行動を進めるために、「日産化学生物多様性行動指針」を策定しています。

また、2015年10月から、生物多様性の取り組みを推進するため、生物多様性民間参画パートナーシップに参加しています。



日産化学生物多様性行動指針

当社グループは、「優れた技術と商品・サービスにより、環境との調和を図りながら、社会に貢献する」という企業理念のもと、地球環境の保全に寄与するため、生物多様性に配慮した事業活動を展開します。

- 1) 製品サイクルにおける生物多様性への影響を把握・分析・評価し、その低減を図ることで、生物多様性の保全、生物資源の持続可能な利用に取り組みます。
- 2) レスポンシブル・ケア活動を通じ、社員一人ひとりの生物多様性に対する意識向上に努めます。
- 3) 社会から高い評価と信頼が得られるよう、生物多様性の保全に資する社会貢献活動を継続的に行います。
- 4) 以上の取り組みの結果を公表し、社会とのコミュニケーションを深めます。

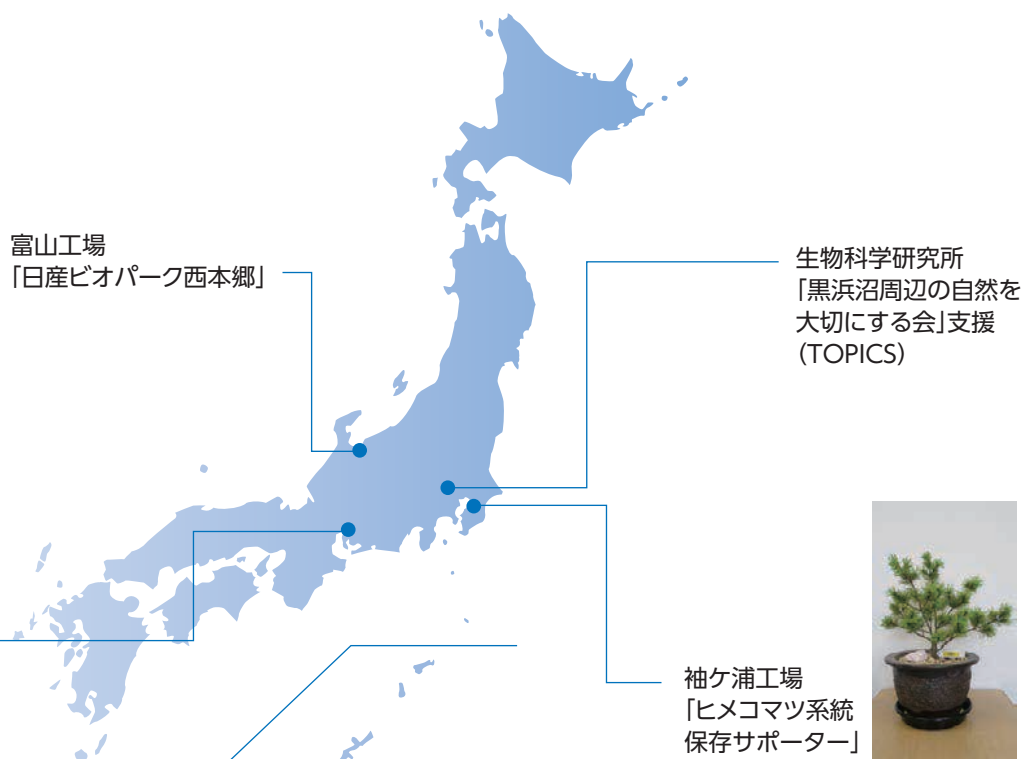
当社での生物多様性の取り組み



富山工場
「日産バイオパーク西本郷」



名古屋工場
「藤前干潟クリーン作戦」



生物科学研究所
「黒浜沼周辺の自然を大切にす会」支援
(TOPICS)

袖ヶ浦工場
「ヒメコマツ系統
保存サポーター」



TOPICS

NPO法人「黒浜沼周辺の自然を大切にする会」への支援とダイアログ

2016年度より、当社は、埼玉県蓮田市のNPO法人「黒浜沼周辺の自然を大切にする会」への支援を開始しました。「黒浜沼周辺の自然を大切にする会」は、埼玉県のさいたま緑のトラスト協会のトラスト保全11号地に指定されている黒浜沼周辺における生物多様性保全活動を長年に亘り行っています。ジョウロウスゲ等の絶滅危惧種の育成に成功するなど多くの成果を上げている一方で、黒浜沼の乾燥化、柳やミシシippアカガメ等の外来種の繁殖による希少動植物の減少など多くの危急の課題に直面しています。また、近隣の小中学生の環境学習にも貢献しており、当社はこれらの地域に根差した地道な生物多様性保全活動に賛同し、その活動へのサポートの一環として毎年寄付を行うことを決定しました。

当社のCSR・広報室、環境安全・品質保証部および生物科学研究所の代表は、当NPO法人が管理する蓮田市の環境学習館を訪問し、黒浜沼周辺における会の活動状況を見学したのち、双方の活動内容、生物多様性保全における課題や企業への期待等について、意見を交換しました。



▲黒浜沼周辺の景観



▲繁殖に成功している絶滅危惧種のジョウロウスゲ



▲生物多様性保全活動に関する意見交換

TOPICS

アーマンドバイユー自然センターメンバーシップ参画

生物多様性の取り組みを推進するため、Nissan Chemical America Corporationではアーマンドバイユー自然センター (Armand Bayou Nature Center, ABNC) のメンバーシップに参画しました。

ABNCは米国テキサス州ヒューストン、ガルベストーン地域にある約10平方キロメートルの広さを持つ自然豊かな大草原や湿地帯および森林帯であり、都市近郊における最大の自然保護区域の一つとなっています。約370種の動物が生息するABNCは、都市近郊での子供たちに対する自然体験の場としての役割も担っています。



▲アーマンドバイユー自然センター